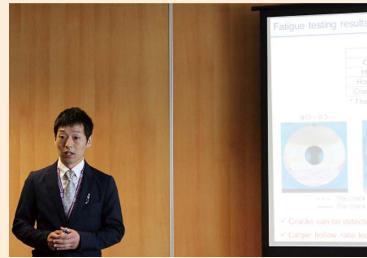


国際会議から 第2回鉄道技術に関する国際会議 (Railways 2014)

International Conference on Railway Technology は、車両・軌道・構造物など鉄道技術全般に関する国際的な会議で、今回で第2回目となります。前回の開催地はカナリア諸島(スペイン)、今回はアジャクシオ(フランス、コルシカ島)で、次回はサルディーニャ島(イタリア)で開催予定と、欧州のリゾート島での開催が続きそうです。

日本からは、鉄道総研の6名を含み、鉄道事業者、メーカー、大学関係者など、20名程度の方が参加していました。会議は、合計18セッション、約330件の口頭発表が4~5の会場で行われる非常に大規模なものでした。私のセッションは状態監視、メンテナンスなどに関するもので、鉄道車軸および台車枠のき裂常時監視手法についての発表を行いました。



山本勝太
車両構造技術研究部
車両強度研究室
副主任研究員

アジャクシオは比較的小さな町で、市中心部に、発表会場やホテル、レストラン、市場、鉄道駅などが集中しています。発表会場の隣にはフェリー乗り場があり、発表中も時折豪華客船の汽笛が聞こえてくるなど、非常にのどかで、治安の良い町でした。



正式名称：The Second International Conference on Railway Technology : Research, Development and Maintenance
 開催国：フランス(アジャクシオ)
 期間：2014/4/8~11
 主催：Civil-Comp Press
 開催頻度：1回/2年
 次回開催予定：2016年4月 イタリア
 ホームページURL：<http://www.civil-comp.com/conf/>